

QRコードをスマートフォンやタブレットで読み取ると、各議員の一般質問の動画が視聴できます。

新しい風
松浦昌巳



市民活動の位置づけは

Q アフターコロナ時に、掛川市を活気づけるのは市民活動である。今、市民活動イベントがなくなり、活動報告も評価も出来ない。このような状況で市民活動をどう捉え、どう位置づけるのか。

市民活動は欠くことのできない重要な活動である

A コロナ禍の中にあっても、これまで活発に行われてきた活動が継続され、また、今後求められる新しい活動も生まれています。このような取り組みにより、支えあい、役立ち合い、誰一人取り残さない社会の実現が図られると考えていますので、市民活動は欠くことのできない活動であると、改めてその重要性を感じています。

「掛川市有機農業推進宣言」を

Q 安心・安全で持続可能な農業を推進し、消費者への意識改革を推進するうえで「掛川市有機農業推進宣言」を提唱し、積極的に有機栽培への支援が出来ないか。

環境保全型農業の推進に努めていく

A 掛川市では、平成28年度に掛川市環境保全型農業生産推進会が組織され5年が経過しました。会員数も増加し、国の補助制度を活用しながら、現在46ヘクタールで有機栽培を行っています。今後も国の動向を注視しながら当推進会を中心に環境保全型農業の推進に努めていきます。

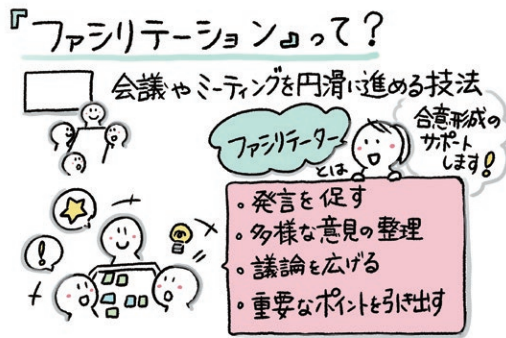


新しい風
藤澤恭子



対話重視の市政運営のために

Q 対話にはファシリテーションが重要であるが、市民ファシリテーターの養成が必要ではないか。



ファシリテーションを学ぶ機会の提供について検討する

A まずは、市民の皆様にはファシリテーターの役割と効果を理解していただく機会を増や

してから、学ぶ機会の提供について検討していきます。

市民の健康をどう守るのが

Q コロナ禍による健康二次被害が心配されるが、影響をどう捉えているか。

健康的影響が起らないよう対策を考えていく

A 令和2年度当初に緊急事態宣言が発令され、生活様式の変化により外出できない等の精神的なストレスがありました。しかし、テレワークによる時間のゆとりから、生活の見直しが行われたり、働き盛り世代の健康意識の向上がうかがえるなど、良い傾向も見られました。健康指標については数年をかけて示されますので、今後もこれまで通り健康診断の実施を図りつつ、健康教育の在り方を検討し、健康的影響が起らないよう対策を考えていきます。